

<日商簿記1級工業簿記ミニテスト6>業務執行的意思決定

<問題>

当社では、連産品である製品A X・A Y製品を生産している。製品A X・A Yは分離点以後に追加加工を行い販売している。今回、製品A Yをさらに追加加工したA Y Y 1,000kg を350,000円で購入したいという依頼があり検討している。なお、分離点と完成品における各製品の物量に変化はないものとする。また当社では見積正味実現可能価額を基準として連結原価を各製品に配賦している。

追加加工を引き受けるかどうかを、理由とともに記しなさい。

なお、当社では追加受注を受ける遊休生産能力は充分にある。

<資料>

(1)各製品の生産量と単位当たり市場価格

	生産量 (単位: kg)	市場価格 (単価)
製品A X	3,000	@600
製品A Y	2,000	@300

※製品A Yの該当期間における販売予定量は2,000kgであるが、1,000kgは断ることが可能である。

(3)連結原価と分離後の見積・実際個別加工費

連結原価
1,105,000

	見積個別加工費	実際個別加工費
製品A X	@50円	@55円
製品A Y	@20円	@20円
製品A Y Y	@40円	@40円

<問>

追加加工を引き受けるべきで (ある ・ ~~ない~~)

理由は、差額 (利益 ・ 損失) が (10,000) 円生じるからである。